

希望の丘



気仙沼市立九条小学校
校長室だより
令和5年8月29日
NO.5
校長 白倉 彩枝子



人と関わり 心豊かに成長する子供たち

34日間の夏休みが終わり、転入生2名を含む235名で、元気よく1学期後半がスタートしました。

今年の夏は、世界各地で猛暑となり、毎日のように「危険な暑さ」という言葉が繰り返されました。コロナ感染症がインフルエンザ相等になったこともあり、夏休みのプール開放も昨年より増やしましたが、熱中症予防運動指数が「運動中止」となり、実際は半分程の実施となりました。夏休み明けも、校庭で遊べない日が続き、子供たちにとっては、コロナ禍とはまた違った「我慢」を強いる夏になったのではないのでしょうか。

しかし、そのような中でも、子供たちは、家族の皆さんや地域の方々の協力や応援もあり、夏だからこそできる様々な体験をしたようです。子供たちから、「海で泳いだよ。」「お祭りに行ったよ。」「いとこが来て、いっしょに遊んだよ。」等々、楽しい思い出話を聞かせてもらいました。

本校でも、この夏休み中、「市内水泳大会」や「算数チャレンジ」、「はまらいんや」、「わんぱく相撲気仙沼場所」と、たくさんの行事や大会に参加し、子供たちの挑戦する姿や最後まで頑張る姿がたくさん見られました。その中で、4年ぶり開催の「わんぱく相撲」の応援に行って、とても心に残ったシーンがありました。右の写真です。

これは、取組に負けた友達に、そっと寄り添う子供の姿です。自分より体の大きい相手に向かっていく恐怖心や、負けた悔しさに、涙を拭う友達に対し、誰に言われたでもなく、自分から寄り添い、大きく包み込む後ろ姿に、思わずシャッターを押しました。（この子は、家庭、学校、地域のどこかで、このように温かく励まされた経験があるのだろうか。）と思いつつ…。子供たちは、友達や周りの大人と関わり交流しながら、豊かな人間関係を学んでいきます。私たち大人も改めてそのことを意識して関わっていかねばなりませんね。



これからも、様々な人々と関わり交流しながら、子供たちの学びは続きます。心も体も発達途上の子供たちですから、学校や家庭、地域の大人の出番が必要な時もあります。そのような時、私たちは、子供たちのサポーターとしてワンチームになって、時には寄り添い、時には向き合いながら、応援していきたいと思えます。

保護者の皆様、1学期後半も、本校教育活動に対する御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

◇ お知らせとお願い ◇

コロナ感染が5類相等になったことから、「濃厚接触者」という扱いはなくなりました。「感染が心配」という理由で欠席する場合は、「事故欠」となります。

また、休日に、本人や御家族が感染した場合は、休日明けの連絡でかまいません。緊急電話（050-5475-6773）は、あくまでも緊急を要する連絡にお使いください。